

## 2020年度～2024年度

- ・ 五十嵐海理『ことばとスコープ2 否定表現』（シリーズ英文法を解き明かす 第8巻）東京：研究社. 2020年8月.
- ・ 金澤俊吾・柳朋宏・大谷直輝（編）『語法と理論との接続をめざして英語の通時的・共時的広がりから考える17の論考』東京：ひつじ書房. 2021年9月.
- ・ 登田龍彦『英語教師を変える楽しい学び直し—自律的学習を導く語彙・文法指導の原点—』東京：開拓社. 2021年9月.
- ・ 八木克正『現代高等英文法—学習文法から科学文法へ—』東京：開拓社. 2021年10月
- ・ 平沢慎也『実例が語る前置詞』東京：くろしお出版. 2021年12月.
- ・ 井上永幸（監修）和泉爾（編）『コーパス・クラウン総合英語』東京：三省堂. 2022年1月.
- ・ 田中智之・茨木正志郎・松元洋介・杉浦克哉・玉田貴裕・近藤亮一（編）『言語の本質を共時的・通時的に探る—大室剛志教授退職記念論文集—』東京：開拓社. 2022年3月
- ・ 菅井三実・八木橋宏勇（編）『認知言語学の未来に向けて—辻幸夫教授退職記念論文集—』東京：開拓社. 2022年3月.
- ・ 中邑光男・山岡憲史・柏野健次（編集主幹）『ジーニアス総合英語 第2版』東京：大修館. 2022年3月
- ・ 安井稔・安井泉『英文法総覧 大改訂新版』東京：開拓社. 2022年10月.
- ・ 石原健志『受験英語をバージョンアップする—ずっと使える英語力への15のTips—（一歩進める英語学習・研究ボックス）』東京：開拓社. 2022年11月.
- ・ 倉田誠（編）『映画でひもとく英語学』東京：くろしお出版. 2022年11月.
- ・ 瀬戸賢一・宮畑一範・小倉雅明（編著）『[例解] 現代レトリック事典』東京：大修館書店. 2022年11月.
- ・ 廣瀬幸生・島田雅晴・和田尚明・長野明子（編）『比較・対照言語研究の新たな展開—三層モデルによる広がりと深まり—』東京：開拓社. 2022年11月.
- ・ 廣瀬浩三・松尾文子・西川眞由美『英語談話標識の姿』（ちょっとまじめに英語を学ぶシリーズ5）  
（シリーズ監修 赤野一郎・内田聖二）東京：ひつじ書房. 2022年11月.
- ・ 南出康世・中邑光男（編集主幹）『ジーニアス英和辞典 第6版』東京：大修館書店. 2022年11月.
- ・ 小川芳樹・中山俊秀（編）『コーパスからわかる言語変化・変異と言語理論3』東京：開拓社. 2022年12月.
- ・ 八木克正（監修）井上亜依・住吉 誠・藏菌和也（著）『文法活用の大学英語演習』東京：開拓社. 2022年12月.
- ・ 出水孝典『開拓社叢書36 語彙アスペクトと事象構造（上）—時間特性を診る14章—』東京：開拓社. 2023年1月.
- ・ 出水孝典『開拓社叢書37 語彙アスペクトと事象構造（下）—事象の枠を捉える14章—』

東京：開拓社. 2023年1月.

- ・ 石原健志『入試実例 コンストラクションズ 英文法語法コンプリートガイド』東京：三省堂. 2023年3月.
- ・ 遊佐典昭・小泉政利・野村忠央・増富和浩（編）『言語理論・言語獲得理論から見たキーワードと名著解題』東京：開拓社. 2023年3月.
- ・ 藤井聖子・内田 諭『フレーム意味論とフレームネット』東京：研究社. 2023年5月.
- ・ 石原健志・倉林秀男『基礎英文のテオリア 英文法で迫る英文読解の基礎知識』静岡：Z会. 2023年7月.
- ・ ことばのまなび工房（監修）若林茂則（編）大津由紀雄・吉田研作・尾島司郎・中川右也・柴田美紀・富田祐一・白畑知彦・松村昌紀（著）『英語の教室で何ができるか』東京：開拓社. 2023年9月.
- ・ 町田 章『AI時代に言語学の存在の意味はあるのか？ 認知文法の思考法』東京：ひつじ書房. 2023年9月.
- ・ 吉田幸治（編）金澤俊吾・鈴木大介・住吉 誠・西田光一・吉田幸治（著）『言語・文化選書101 話し手・聞き手と言語表現 語用論と文法の接点』東京：開拓社. 2023年9月.
- ・ 今井亮一・平沢慎也『スローでディープな英文精読：〈ことば〉を極限まで読み解く』東京：研究社. 2023年11月.
- ・ Talmy, Leonard（著）岩田彩志・菊田千春・西山淳子（監訳）對馬康博・藤川勝也・岩田彩志（訳）『認知意味論を目指してII—Toward a Cognitive Semantics—』東京：開拓社. 2023年11月.
- ・ 北村一真『英語の読み方 リスニング篇—話し言葉を聴きこなす』東京：中央公論新社. 2024年3月.
- ・ Talmy, Leonard（著）岩田彩志・菊田千春・西山 淳子（監訳）岩田彩志・辻早代加・五十嵐海理（訳）『認知意味論を目指してIII—Toward a Cognitive Semantics—』東京：開拓社. 2024年3月.